

(別紙4(2))

事業所名 南ひこねグループホーム翔裕館

目標達成計画

作成日: 令和 3年 10月 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	介護記録等への記載による、入居者の想いや希望の共有は行っているものの、一人ひとりの入居者にフォーカスしての情報の集約までには至っていません。センター方式の書式活用など、ケアに活かせる「その人の情報」の厚みを増やしていく更なる工夫が求められるところです。	ご利用者のアセスメントを行い、1人1人のニーズと意思を尊重し、出来る限りの可能性の実現と生活の質の向上に努める。	アセスメント時にセンター方式を利用するなどし、ご利用者の状態が職員全体で情報共有できるようにする。 ご利用者の生活が今以上により良いもの出来るようにご利用者の思いを傾聴する。	6ヶ月
2	49 (18)	コロナ禍の影響によりやむを得ない事情だと察しますが、感染症対策を講じた上で、近距離でもドライブ外出に出掛けるなど、入居者の気分転換を図るような外出機会を作られてはいかがでしょうか。	ご利用者に四季を感じてもらったり、施設外での気分転換が行えるように、感染対策をしっかりと行い、外出できる環境を整える。	年間の行事計画を再度見直しを行い、定期的に少人数又は個別での外出が行えるように計画していく。 外出の際には、感染対策をしっかりと行い、コロナ禍においても外出の機会が持てるように努めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。